

新時代の日中協力ネットワークをたくさん設立しよう



WeChat で、浙江省の 8 つの大学に瞬時に配信された
中国浙江省から訪日した大学生たちの和服体験の写真
(2014/02/07 焼津青少年の家)

IT によるワークスタイルの変化・協力関係は組織から個人へと移行しつつある。スマートフォンの普及により情報交換は手のひらで進められるようになり、LINE 等のメッセージサービスにより、瞬時の連携を図ることができる。

日中間の交流も「新しいつながり」の方法を取り入れていける時代である。私たちもこの新しい武器を活用して、在住中国人が地域で孤立せず、困った時に他のメンバーに「支援=SHIEN」「助けを求める」ネットワークをつくっておくことが大切である。

これからは境界線を超えて、リアルタイムのメッセージ（文字・画像・動画）交換を通じて、人に依存し人を手助けする関係を作りだすことを準備しよう。

●LINE グループ「象耳会」(そうみみかい)

静岡エリアを中心に、在住中国人と日本人で、LINE を活用した「象耳会」を設立している。象のように大きく耳を広げて情報を集め、孤立せず、情報交換し、協力し合う関係を作ろう！という単純なグループである。入会も退会も自由である。もちろん、何も協力しなくてもいいし仲間が交換するメッセージを読むだけでもよい。

現在は、社会人を中心とした組織と大学生（留学生含む）を中心とした 2 つの象耳会が活躍していて、通訳・翻訳の協力、中国からの交流団の受入協力、そして、3月7日の「富士山友好ウォーク」事業では大きな力を発揮するでしょう。

●（浙江省）杭州市の「象耳会」

象耳会の前身は、浙江省杭州市で設立された。雑誌編集者、テレビディレクター、コピーライター、イラストレーター、旅行担当者、生活雑貨企画者、花道教師、茶文化愛好者、等、異業種の若者たちが時々集まり情報交換することから始まったグループである。熱気あふれる情報交換は新しいものを生み出し新しい協力関係を作り出す。

●静岡・浙江日中大学生交流グループ WeChat「鹿鳴会」設立

このたび静岡県を訪問した浙江省の大学生たちと静岡県立大学の学生たちが中心となり、「鹿鳴会」グループが設立された。使用するソフトは WeChat である。残念ながら中国では原則として LINE が使用できない。カワイイスタンプが使用できるのに残念。そこで WeChat を利用して情報交換することになった。継続発展してほしい。

●県内のある民宿組合と助け合う協力関係を目指す

現在、象耳会は、県内のある都市の民宿組合のみなさんとネットワークによる協力関係を相談している。中国からの訪日観光客は爆発的に増大するものと想像される。上海、武漢、杭州、天津だけでなく今後、寧波、温州からも訪日専用便は増えるであろう。宿泊するときの言葉の障壁は大きな誤解を生むことがある。この問題を遠距離でも解決・協力する仕組みを、携帯、LINE、QQ、WeChat、メール等を使用して作りだしたいと相談している。

お互いの国や都市を訪問することがもっともよい方法だが、相手の言葉ができてできなくても、個人の日常生活、イベント、体験、風景、ファッション、食べ物、趣味、そしてもちろん今の美しい富士山も瞬時に画像で送ることができる。中国からも無数の情報が送られてくるだろう。まずは簡単に日常的にお互いの状況を知り続けることが大切である。

これからは、既存の行政単位の枠と組織を超えた、新しい若者たちの交流形態を応援していくこともひとつの活動である。
(文責：象耳会・HOSOMI)



- LINE <http://line.me/ja/>
- WeChat <http://www.wechat.com/ja/>
- QQ <http://www.imqq.jp/>

「和すれば益、争えば害」「始まる文化への渴望」「友好は最大の安全保障」